

第32回「議員と語りかい」報告書

2班 (No.1)

開催日	令和元年11月11日(月) 午後7時～8時30分		
開催場所	清水公民館		
団体名	清水地区自治公民館	参加人員	11人 (男 8人:女 3人)
出席議員	松枝 正浩、鈴木てるみ、徳田 修和、前島 広紀、松元 深、蔵原 勇		
役割分担	班 長 (前島 広紀) 副班長 (蔵原 勇) 記録係 (松枝 正浩)		
テーマ及び具 体的な内容	・自治会加入、防災マップ、避難所、急傾斜及び治山事業、河川寄洲、道路改良、県道通行規制、高齢者徘徊対策、高齢者人口割合、不登校問題、バリアフリー等障がい者へ配慮した対策		

意見交換 での 主な 意見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆自治会加入の減少が、どこの公民館でも問題になっている。熊本県は、90%以上が自治会に加入している。アパート等、大家さんの条件である。今後、霧島市も考えてほしい。
	◇自治会加入推進月間を設定して市も取り組んでいる。宅建業協会等とも連携し、アパート探しの方へも周知を行う取組がなされている。
	◆市民の声を避難所マップへ反映し、詳細情報の掲載をしてほしい。
	◇市民の情報を反映した詳細なマップを検討しているとのことである。本市で開催された全国都市問題会議の事例紹介では、子どもたちによる「ちゃりんこ隊」で防災意識を高め、防災活動に取り組んでいるとの報告もあった。
	◆河川の水位上昇で側溝の水が河川に流れ込まない。浸水被害の対策をしてほしい。
	◇市は、雨水管理総合計画を策定しているが、計画地域が限られている。浸水被害があることを市へ伝えたい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆清水谷の土石流対策の防波堤をつくるための調査が終わり、来年度から工事着工となる。この現場から離れたところに土地があり家は一軒しかない。陥没等もあり、危険を感じるが、市から対応はできないとのことであった。別な工事箇所においても隣でありながら施工を行ってもらえなかった。声をしっかり聞いて対応してほしい。

◇事業には採択基準があり、治山事業であれば2戸以上となっている。地域の実情も踏まえ、採択基準等の緩和を行政へ伝えたい。

◆地域まちづくり計画で要望している大和交差点のかなりの渋滞の解消をお願いしているが、説明会以降の動きがほとんど分からない状況である。

◇この渋滞緩和に向けて交差点の設計業務委託を発注したと聞いている。

意見交換での主な意見等 ◆芦谷地区は、公民館の後ろに山が控えており危険な状態を感じる。このような状況にあるため、地区の避難所として民間の休憩所をお願いしているが遠いとの声もある。この公民館の安全性を調べてもらいたい。

◇市へ伝え公民館の安全性を確認してもらい、報告をしたい。

◆県道471号は、土砂を積載したトラックが通行するため、危険な状態であるとの声もある。大型トラックの通行規制ができないものか。

◇県議とも連携をして県へ要望したい。

◆施設入所の高齢者の行方不明の事例があった。施設から行政への連絡や行政の防災無線等の対応はできないか。

◇自発的に施設側が対応すべきである。防災無線で呼びかけることも必要である。

◆65歳以上は何人いるのか。高齢者に対しての対策や計画をどのように立てているのか。

◇平成30年度統計書では、人口126,278人に対して65歳以上は33,023人である。弁当の宅配や配食サービスのほか、ケアマネなどが計画を立て訪問介護等のシステムもある。

◆子どもの不登校解消のための専門の先生が配置されているか。これから先の対策をどのように進めていくことを考えているか。

◇国は、1中学校校区ごとに1人のスクールソーシャルワーカーを置く方針であるが、本市では、4人配置はしているものの人員が足りていない状況である。教育委員会へは一般質問でも問題提起を行っている状況である。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆障がい者の社会進出に伴う施設等の改装計画はあるか。

◇市役所別館では、視覚障がいの点字や手摺の設置、手話通訳者の配置も行っている。今後、ご指摘のような視点で施設等を見ていきたい。

◆国分体育館の入口は、車イスで動くには厳しい勾配である。3年前に市長や副市長へ緩やかな勾配となるような改修工事を行って欲しいとの要望も行った。現在、工事を行っている中にスロープも入っているか。

◇国体に合わせるための照明や競技会場、観覧席等の工事である。この件に関しては要望したい。

◆清水地区は、面積が広いなかで一次避難所がひとつである。3～4箇所を増やすことはできないか。

◇清水地区の公民館数で、一次避難所はひとつとなっていると思う。担当部署にも確認を試みたい。地域防災計画のなかで指定していくこともひとつの方法でないかと考える。

◆二級河川の寄洲や雑草の除去は、議会として県へ要望できないか。

◇県議とも連携をして要望をしていきたい。

意見交換での主な意見等